

令和 7 年 6 月 27 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和 5 年度から令和 7 年度	
会 社 名	川中島建設株式会社	
住 所	〒381-2225 長野市篠ノ井岡田200番地1	
代表者名	代表取締役社長 笠井澄人	
業 種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地
		積替保管施設なし
担当部署	現場支援部	
担当者名	松澤 俊幸	
連絡先	T E L	026-292-1342
	F A X	026-293-2111
	電子メールアドレス	t-matsuzawa@kawanakajima.co.jp
ホームページアドレス	'http://www.kawanakajima.co.jp	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

産業廃棄物の発生抑制と再利用率の向上に向け、施工方法の見直し等継続的な努力を行う。ゴミの減量、リサイクル活動の推進を今まで以上に取り組み、社員の廃棄物減量・適正処理の意識向上を図る。産廃処分業者との委託契約においては、優良認定業者・熱回収業者など環境に配慮されている業者や電子マニフェストシステムが導入されている業者の情報を収集し委託先を検討する。また産業廃棄物の搬出状況や処理状況について、現場ごとに掲示板を設置し住民の皆様処理状況を知ってもらうことで、信頼の確保に努める。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	R7 年度目標値	R6 年度実績値	R5 年度実績値	R4 年度実績値
総排出量の推移 (t)	3,257.5	5,121.3	5,218	6,012

リサイクル量の推移 (t)	3,128	5,031.7	5,093	5,925
売上高の推移 (円)	35 億	32 億 4,817 万	34 億 4,370 万	32 億 4,839 万

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・計画段階においては、リサイクル製品使用や工場での加工あるいは二次製品の利用率を高くし、現場での端材などの発生を抑制する計画・設計方法を研究、推進する。
- ・実施段階においては、工程計画及び設計内容を発生前に十分確認し、適正量の適正時期発注に努めるとともに、現場同士の共同発注などを行い、梱包材の発生抑制を図る。またリサイクル処分の対応できる業者との産廃の委託契約をし、作業所内での適正分別を行い、混合廃棄物の割合の低減を図る。
- ・委託処理した廃棄物が不適正処理されたことが判明した場合は、直ちに関係機関に連絡を行うとともに、状況把握を行う。そして、関係機関との連絡を密に取りながら原因究明についての協力体制をとる。不適正処理された廃棄物の撤去や最終処分については、原因者に強く要求すると共に、排出事業者責任として適正な処理を行う。
- ・他の不適正処理に対しても、日ごろから注意を払うよう社員へ喚起し、不適正と認められる処理状況を発見した場合は、関係機関へ情報提供を行う。

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項
 - 代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和7年度 目標値	令和6年度 実績値	令和5年度 実績値	令和4年度 実績値
再生アスファルト合材	100％	100％	100％	100％
埋戻し材（再生砕石）	100％	100％	100％	100％

全 体	100%	100%	100%	100%